

緊急

天航空部隊戰況概報着信態所

鹿屋航空基地

14

暗號軍極秘

機密第二八〇七五〇番電

二分ノ一

七〇六空戰團概報（五月二十七日）

一〇一式陸攻六機沖繩北飛行場攻撃ノ爲ニ二二二五ヨリ正午迄ニ發進四機

〇四一〇迄ニ歸投

二機ハ各〇一二五及〇一四五ニ於テ爆撃終了後ノ爲戰果不明

指揮官機（福田大尉）ハ〇一三五（推定位置戰場上空）以後連絡

ヲ絶チ未歸還

二機ハ沖繩附近ニ達セルモ一機ハエンジン不調ノ爲引返シ一機目

標ヲ視認シ得ズ引返ス

一機ハ出水ニ不時着機件人員異狀ナシ

銀河二機沖繩周邊艦船攻撃ノ爲ニ二三〇發進セルモ一機ハエンジン

不調ノ爲引返ス他ノ一機ハ片舷飛行トナリ鹿兒島灣内ニ不時着セリ

通一五五〇一八

呂一Bヶ十一（七八七五IC）一KFGB放

加屋（片山）

開始二〇... 三七一九... 本本

陸軍機密

五二八  
二九

受信二〇〇〇  
開始一〇〇〇

了二三二五

電一三九五八

作概

● 鹿屋航空基地

● 天航空部隊戰團概報着信艦所

機密第二八一四三〇番電 三分ノ一

T F B 菊水八號作戰戰團概報 (二十七日二十八日)

一 六航軍第九總攻撃ニ呼應二十七日夜間ヨリ二十八日黎明ニ亘リ白菊二

十機零式水偵十一機零觀四機泊地艦船特攻銀河六機一式陸攻十一機

天山四機<sup>初機</sup>泊地艦船雷擊<sup>艦</sup>攻六機夜戰二機飛行場爆撃

三 確認セル戰果左ノ通巡洋艦一隻驅逐艦一隻大型<sup>T</sup>一隻轟沈巡洋艦一隻

雷命中確認艦種不詳二隻<sup>雷</sup>雷命中炎上。

【電信課註 本電三分ノ三ニ配布】

通一五五七五 呂一Bケ十一 (七八七五KC) (一KFGB放 和田(ハンザワ))

# 作

五二八 受信三三〇六 敵ア〇一二五 電 一三七六六  
 二九 敵始〇〇二〇 一三七六六 作 破

## 鹿屋航空基地

天航各部隊戦闘概報着信艦

機密第三八四三番電 三令二三三

大巡一莫翰速艦一莫夫々雷撃せし其効果不明  
 四敵信傍受依れ效果

二三〇 艦種不詳一莫(奥雷命中せし不発ニシテ破口ヨリ浸水中目  
 下沈没、(奥雷命中)ハ攻撃時間推定重爆ニ依り攻撃效果志  
 天ト認ム、敵の艦種不詳一莫(危急ニ瀕シ救助ヲ求ム)ハ白菊  
 二依れモト認ム。二〇四 艦種不詳一莫(大炎災甲板に燃焼火也  
 艦内目下火災)ハ天山ニ依れモト認ム。五〇九 水偵隊成一機  
 或艦ニ突入、報じられ後。五一三 非通信中艦一有力艦ハ  
 通 一五五二七 一〇一七(七)五九(二)五〇日放 大石力第(破)

昭和廿九年五月廿九日

三二八日偵察機三機〇〇。突進列島線東南海面、常敵ヲ突  
 夜〇〇。敵ヲ見ス。  
 三二八日偵察機三機〇〇。突進列島線東南海面、常敵ヲ突  
 夜〇〇。敵ヲ見ス。  
 三二八日偵察機三機〇〇。突進列島線東南海面、常敵ヲ突  
 夜〇〇。敵ヲ見ス。

通信機 本機三台、一未着

五 二九 受信一七二五 譯了二三三〇 電自一四四七二  
 三〇 譯始一三〇〇 至一四四七四 航概〇  
 本

至急

作

六航軍戰闘概報着信艦所

機密第二九一一五〇番電 三分ノ二二三

戰闘要報二十八日

一、第九次總攻撃ヲ實施

(一) 知覽万世ヨリ特別攻撃隊四八機發進〇七〇〇乃至〇八〇〇ノ間惡

天候ヲ冒シ沖繩島附近敵艦船ヲ攻撃戰闘機一七機徳之島附近迄制

空傍受ニ依レバ無線裝備機十八機中九機突入ヲ報ス特情ニ入リタ

ル戰果重シ一撃沈一撃沈一撃沈若ハ大破一撃破一(以上種類不詳)

(二) 殘戰闘機隊ハ本拂曉霧ノ爲出動中止薄暮特攻八機戰闘機一六ヲ以

通一五八三五 呂一Bケ十一 (九八三〇LC) 佐二放鈴木、林、岩山、三村

テ沖繩島附近敵艦船ヲ攻撃ス突入ヲ報ゼシモノA又ハC一機D一機  
機這種不詳四機

①重爆四機ヲ以テ○○○○頃發進沖繩島中飛行場攻撃ニ向ヒタルモ  
天候不良ノ爲ニ機進滞一機ハ艦船ヲ攻撃ス戰果不詳一隻續ケ  
別ニ三機物量投下ニ向タルモ天候ノ爲投下シ得ズ

②昨二十七日夕ノ攻撃結果中判明セルモノ不詳一隻破四火柱一損害  
息不明一中破二

③本夜重爆四機ヲ以テ球部隊ニ物量投下ノ豫定  
均我ガ空挺攻撃ノ爲使用ヲ拘束セラレアリシ沖繩島北飛行場ハ二十八日  
一六〇〇以降一部使用ヲ開始セルガ如シ。

五 〇九 受信 〇二二二八 譯了 〇一一一五 作機 〇  
〇〇 〇〇一六 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

共 符

天航空部隊戰闘概報着信繼所

機密第二九一六四四番電 三分ノ二ニ三

T F B 戰闘概報 (二十八日)

二十八日一〇一〇一六三〇ノ間ニ於テ三波ニ亘リB一二九 四機  
及沖繩基地ヨリ小型機約七〇機 (S B二〇一 F四U一 F六F一

一 P一五 P一四七) 南九州地區ニ來襲各基地上空制壓セルノミニ  
テ銃爆撃セズ零戦五七紫電 二八 以テ之ヲ襲撃戰果擊墜四機奪自爆

零戦四機紫電一機未歸還零戦三機紫電三機

二十八日沖繩周邊夜間攻撃實施ノ豫定ニテ一九三〇一ニ〇三〇ノ間  
ニ於テ白菊特攻一機銀河三機天山四機發進セルヲ發進後沖繩方面

通通通  
六六五  
〇〇九  
四三七  
一四二  
呂一Bケ七(七八七五) 一KFGB放 東(ヒ)

天候急變歸投ヲ令セルモ悪化シツツアル天候ノ爲攻撃セズ天山各一機及白菊特攻(雷信機一搭載機)六機行動不詳敵信ノ傍受ニ依ル結果〇〇二二艦種不詳・(大破浸水甚シ)ハ攻撃時間ヨリ推定白菊特攻ニ依ルモノト認ム

三菊水八號作戰ニ於ケル掃雲隊ノ確認戦果左記ヲ追加ス

伊江島南方二〇浬附近ニ於テ中型輸送船一隻撃沈確實。

五二九 受信ニ二〇九 誤了二三三七電一四一九五作概  
 緊急 誤始二三〇九 一四一九六

傍

着先遣部隊

共 符

株密才二九八五一番電二分一・二

E B 綜合情報才九二号

- 一 沖繩陸上戦闘那覇首里ニ激戦中我主力一部南方ニ陣此ヲ轉移セリ
- 二 沖繩南東、K、D、B 動靜不明ナルモ二二日〇八三〇地点へモヨ三三六一五〇〇地点へヤン一九一五二〇地点へニア一七二十九日〇八〇〇地点へモル三九二水上航機ヲ方位測定セリ重要航船行動中ナリ
- 三 捕虜ノ言ニ依リハ二二日〇五二五へシタ五五機空母四ツリ二十六日以降英機動部隊ニ交代先島郡島通一六〇二三 一六〇二二 一六〇一四 一五二九五 KC) 六月放 森河向

攻撃中ナリ機動部隊一般二十日毎ニ補給船ヨリ補給シテ行動ス

- 四 二土白伊江島P五 五七夜 戸四戸四八夜P十三九
- 四五夜C四七 二夜了リ

五三。受信0030 譯了0215 電01793 作概。

譯始0030。

航本

作戦緊急

指宿航空基地

博多、小富士、古仁屋、指宿各航空基地

停

五航空艦隊P

機密第二九一九。番電 二八ノ二

- 三 放送系七八五K(書)三九三七五K(一夜)古仁屋基地
- 指宿基地(櫻島基地完成迄)富士基地博多基地入系
- 四 隊内通信系六六四。K(晝)夜間共各基地常駐既員
- 五 訓練電波六六四。(基地通信ヲ妨害セザルコト)
- 六 其他ニ關シテハ現狀通トス。

二通信課本電三ノ一既配布

通三。七八 一三十一月十一九八三。K(佐二政 村出(川崎)

5-30

五 三〇 受信一五〇五 譯了一六四九 電一四五八五 作機〇  
一四五六 作機〇

作機急

沖 根

信

鹿 屋 航空基地

機密第三〇一一二七番電 二分ノ二

發 沖根司令官

宛 G.P. 參謀長

沖繩所在海軍部隊ハ既ニ最精銳四箇大隊及迫撃砲隊全力ヲ陸軍ノ指揮  
下ニ入レ海軍ニ隨行シ得ザル狀況ニテ小磯地區死守ノ配備ニ就キアル  
處檢隊ヲ主力トスル部隊ナルヲ以テ戦力著シク低下シアルモ未ダ陸軍  
ニ運ビ切レザル迫撃砲彈殘彈三〇〇發アリ今此處ニ迫撃砲十門ノ夜  
間空輸ヲ得ナバ大ナル戦力ヲ發揮シ之ガ切迫セリ至急御高配ヲ得度  
投下ノ位置ハ 糸 滿飛行場北寄り平地ヲ可トス

通一六三六六二

呂一Bヶ七(九八三〇KC)佐二放

長谷川(渡)



有石

五三一 受信〇〇二五六 聯了〇四四五 〇〇〇〇四七 作概〇



錦 沖 根

三〇一四〇

發 務 海軍參謀長

著 玉參謀長

並參謀第一八〇號其、一

現況、現況ニ鑑ミ貴方通信中極端發揮充分ナラザル場所アルヲ考慮シ

「沖繩」本島以北、連絡確保上。

「通信課註 本誌其ノ二既配布」

通一六六九四 協作ヲ二五（九六九〇）佐藤 夏（三三）

五三〇 受信三〇二四二 譯了二二二〇 電一四九八一 航作 本概〇

作戰緊急

● 仁屋航空基地

停

● 小富士、指宿各航空基地

機密第三〇一四四五番電 三分ノ三

以項同項ノ状況許サハ時作戦ヲ中止シ現作戰兵力ヲ以テ同隊ノ再  
建ヲ實施シ次期作戦ニ備フ  
現作戰ノ續行ヲ要スルモノトセバ丁三〇一ノ中可動兵力ノ一部ヲ割キ  
丁三〇二ニ併合ス。爾餘ノ丁三〇一。三〇二ノ兵力ヲ統合シ後續補  
充兵力ノ練成ニ努メツツアリ。

《電信課註 本電三分ノ二未着》

通一六五二四 呂一Bケ十一(七八七五K) 一KFGB放 (土谷)

五三〇 停

受信〇〇三〇〇〇

了〇三五五

一四七四五

作機〇航本

天一 駆作戦部隊

沖

根

▽

機首第三〇一八〇四番 二分ノ二三

沖繩根拠地隊聯合陸隊隊戰團概報第八號

二十五日第三二軍命令ニ依リ新込隊九組ヲ出發シメ津嘉山警備隊長ヲ指揮下ニ入ラシム二十六日第三二軍ハ島尻半島南部地區ニ兵力ヲ集約スルニ決セラルニ策應海軍部隊ニ該地區ニ進出ヲ開始司令部ヲ真榮平ニ移轉

二十七日陸軍部隊前進支援ノ爲小祿地區ニ有力ナル一部兵力ヲ移置ナル外概ネ轉進ヲ了ス二十八日第三二軍命令ニ依リ海軍部隊ハ小祿地區ニ復歸スルニ決シ直ニ行軍ヲ開始司令部ヲ豊原城ニ移轉二十九日部隊小祿地區復歸完了敵兵約五〇那覇市内第一波止場北明治橋附近ニ出現スルヲ察見スルニ至ル

一六六七八 一六六八一

一六六七九 日一四ヶ七(九八三〇) 佐二放 林・和田(深見)

Handwritten notes and stamps on the right page, including a large circular stamp and various illegible markings.



◎

天航空部隊作戦令 通信艦所

共

符

機密第三〇二〇〇一番号二分ノ二二

ア B 信令合作第五八八號

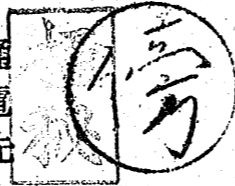
一 通信謀報ニ依リ本月二十四日「ウルシ」ヲ出撃セル敵輸送船團ハ二  
 十八日「レイテル」方面ニ到着セルモノノ如ク敵機動部隊ハ只今ノ處  
 九州方面來攻ノ算少キト雖モ修理中ノ神籠ノ陸上基地ハ着々整備セ  
 テレツツアリ二十八日伊江島基地ノミエテモ在場一五二機ナリ  
 二 舊部隊ハ陸軍部隊ト協同依然沖繩周邊ノ夜間攻撃ヲ強化續行スルト  
 共ニナルベク警備強獲ヲ決行對機動部隊等ニ兵力ハ増戦・警備ハ  
 之ヲ控ヘ置ク

三 舊隊ハ現配備基地ニ在リテ敵ノ次期新企圖ニ備ヘツツ機力練度ノ維  
 持並ニ急遽向上ニ努メ強固ナル航空戦ノ遂行ヲ期スベシ  
 編一六五七八 呂一〇〇七 (三九七五) 七〇〇B 放 谷島  
 編一六五七八 呂一〇〇七 (三九七五) 七〇〇B 放 (谷島)

開始〇三〇〇〇 一四七四七 航作本〇

五三一 (陸軍ヨリ受)

電一四九九三 作概〇



通電先 次長 G B 誠

六航軍參電第一〇三二號其ノ一、三、三、四

義號作戰第二報 (天明迄ノ概況)

- 一、義烈空挺隊ハ二十三日十八時四十分熊本出發沖繩西北方二五〇軒ニ直航該點ニテ變針二十二時十分乃至二十二時二十五分北、中飛行場ニ強行着陸直ニ在地敵機ノ破壊ヲ開始ス
- 二、空挺隊ノ途中故障ノ爲已ムヲ得ズ引返セル一機ハ限庄ニ胴體着陸重傷一機ハ八代北方ニ不時着即死一重傷二沖繩本島ニ到着セルモノ一〇機ナリ

通一四二九三〇

(小澤綾) (一)

5-31

2194



五三一 受信〇〇四四九 譯了〇八五〇 電自一四八九一 譯訊

緊急



天一號作戰部隊・佐領口・沖根

大島防備隊

機密第三〇二三〇七番電 三分ノ一、二、三

當隊機密第二九一一四三番電ニ依ル捕虜陳述要旨

一、搭載艦 NEW YORK (B) 二機搭載

二、操縦者海軍大尉 W. K. KELLER (二十六歳) 五月二十八日一

三、薬剤大尉 R. S. MIXON (四十八歳) 一五四五殘波岬沖ノ NE

W YORK ヨリ二十八度一五〇哩ニアル MIXON (B) チ調査ノ

爲發艦セシム豫定地點附近ニテ D. W. 四發見セル他 B チ見ズ附近ヲ搜

索ノ後沖繩ニ歸投セントセシモ機位ヲ失シ徳之島(確認セズ)上空ニ

出テ大島喜界島經由行動ノ後一七〇〇頃燃料不足ノ爲大島ノ南東海面

ニ不時着セリ

通 一六六七一〇八  
六七七三六

日一Bケ一(九八三〇) 七二

(一)

三 NEW YORK (呼出符號 F I G A R O) ハウルシ島ヲ三月下旬發  
 一 旬沖繩着爾後沖繩ノ南半部周邊ニ行  
 一 臺灣專ラ彈着ノ觀測ニ任ジアリト言フ (M I Z O R Y) ハ五月八日  
 一 頃本ノルル發グアム島經由 D 二ト共ニ五月二十五日沖繩着五月二十  
 一 七日沖繩發 (任務並ニ行動不明)  
 一 五沖繩周邊ノ艦船其ノ被害狀況今後ノ企圖等ニ關シテハ口ヲ緘シテ語  
 一 ラズ。

〔東通註 本文中「藥劑大尉」ハ翻譯ニ誤ナシ〕

五三一 通信のハ一ノ 語一の二の 電一四八五 作板の  
 一 本

航空基地

航空基地

傍

報

一 航空基地航空部、小森航空基地  
 一 五其土地航空部所  
 一 右 塩 空基地

機密第三〇二三五二番在電

新聞機報(五月三十日)

一 〇部ニヨリ一九〇〇迄 F 6 F 1 / 回ニ T B F 1 / 二九

一 東部機務取扱乘員(保有一組 中練立(七) 六(七))

一 通一七七九 号一 B ケ七(七八七五)一 K F 4 B 放

送花(一級用)



5~31

2200

五三 受通〇八四九 歌A/〇〇〇 電/四七二 作概。

緊急 神籠方面根A

傍

天ノ號作部隊

機密第〇七二番電

業 中下參謀

〇〇〇〇 今度良間方面。砲声〇〇〇〇 敵灯火  
音斷〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇 今度良間方面 対空砲  
火〇〇〇〇 約一合、砲〇〇〇〇 灯火音断、此。

高田(書) 神根 (2200) 高田(書) ④

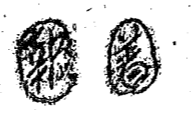
歌好台  
航本

緊急



共

以付



天一號作戰部隊  
大海參一部

機密第一〇九四〇番電

古龍軍艦特約平五機、以下一五〇。知覺業  
神龍國迎艦船攻擊、豫定。

通入大台  
於志(九信北)送放  
望日(吉)④

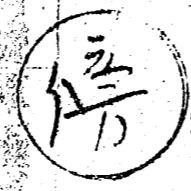
2202 5~31

五三一 受信一四三〇〇 電一七三〇 電一四九九八 作機D

緊急

天一號作戰部隊

沖繩根



機密第三一〇九四三番電

發 G F 參謀

天候視界良好ニナリツツアリ

「ロ」區Bニハニューメキシコ型(G5D5T)約五〇隻

白〇六五〇ヨリP四〇〇ヨリP一〇〇ヨリP一六機行動

開始

東通註 本電誤字ノ爲遅延ス

通一六八四七 ロ一ケ七(一八九五R)六P 加賀(久保田)

5~31 2203

五三二 受信二二二〇 開始〇〇一五 終了〇一四五 電〇〇〇〇八 作機〇 航本〇

至急

作

共符

天航空部隊戦闘機報告備録所  
機密第三一〇九五二番電

中隊戦闘機隊 (五月三十一日一八〇〇)

彩雲一機一五〇沖繩周邊並ニ沙灣泊地偵察ノ爲發進セルモ一五〇  
〇敵戦闘機ニ追跡サルノ報アリタルマ消息不明一六〇〇更ニ彩雲  
一機ヲ以テ奄美以北ノ列島線周邊ノ搜索ヲ實施一八五六歸着

機一七一三 呂一五七七 (七八七五) K一EFGB放

高橋、啓

作戰緊急

五三一 受信 一二二三 誤了 一三三〇 電 一四九四 一作概 航本 航政

作

報

天航空部隊△ 佐鎮P・沖繩根P・大村航空基地・東通

機密第三一〇三三番電

通報 大本營海軍參謀部第一部

大本營海軍參謀部第二部

航空本部總務部 艦政本部總務部

G B 電令作第六六號

T F B 指揮官 沖繩根據地隊機密第三〇一二七番電

依 沖繩海軍部隊向ヶ追撃砲十門 大村沖繩間緊急

機身輸送ヲ實施スベシ

通一六八一七 各一Bヶ十一(B) G F P 楠本(長尾)

五三一

受信一六五〇〇

譯了一八三〇

電一五〇五二

作機〇

緊急

天一號作戰部隊

沖

根

P



陸戰狀況

機密第三一一一三一番電 二分ノ一。二

三十日一八三〇頃那覇市若狹町ニ戰車三三臺集結泊沖ニ水陸兩用戰車  
 一四臺游弋牧志町ニ步兵約一五〇ヲ望見ス 三十一日〇八二〇那覇市  
 壺川方面ニ步兵約六〇浸透障地構築中ナリ二十八日來那覇港岸壁附近  
 ニハ敵兵一〇數名出沒屢銃聲ヲ聞ク又不良橋ノ修築資材等ヲ運搬集積  
 シツツアリ今ヤ敵ト近距離ニ對峙スルニ至リ嚴戒中ナリ友軍第一線ハ  
 逐次後退シアルモ西側ニ於テハ首里城趾眞和志國民學校小波ニ對シテ  
 ノ線ハ尙確保シアルモノ如シ本日午前ノ繼砲射撃ハ後方遮斷ニ指シテ  
 サレアルモ一般ニ閑散ナリ目下球司令部移動中ニシテ通信杜絶東側ノ  
 戰況不詳。

通一六八六六三

呂一、〇、七

(九八三〇〇)

佐根

品田 (小澤綾)

5-31

五三一 受信一五四〇 譯了〇五三〇 電〇〇一〇七 航作本〇

戰緊急



天 崎 航空部 隊

岩 崎 空 基 地

機密第三一二一五番地 二分、一二

發 岩川 部隊指揮官

本夜夜襲隊左ニ依リ沖繩航空基地攻撃ヲ實施（機利發進時刻攻撃目標 攻擊時刻ノ順）

一 零戰一號戰二 二三〇〇沖繩全域ニ互リ銃爆隊ヲ實施故ノ欺瞞出動

企圖ノ秘匿ヲ行フ〇一三〇〇一〇二一〇

二 二式艦機二二三〇〇沖繩全域ニ互リ銃爆隊ヲ實施敵欺瞞出動企圖ノ

秘匿ヲ行フ〇五〇一〇一三〇

〇〇〇六〇 口一〇々一一七八七五(一) 放田中 (久保田)

昭和廿六年六月五日